東日本大震災の概況と復興状況

石川是法

平成二三年三月一一日（金）午後二時四六分、日本観測史上例を見ない、マグニチュード九・〇の大地震は、宮城県を中心とした、約四〇メートルに及ぶ巨大な大津波を発生させ、東日本の太平洋沿岸部の多くの町を飲み込み、二万人以上の尊い生命が一瞬にして奪い去られる想像を絶する壊滅的な被害をもたらした。

さらに追い打ちをかけるように、津波による福島第一原子力発電所の電源喪失により、周辺住民がふるさとを離れての避難という非常事態に陥るとともに、放射能物質による農作物の摂取制限や出荷停止、漁業の操業停止など、生活基盤を脅かす様々な問題が発生した事など、私が居住している、いわき市久之浜地区に於いても、これら過酷な現実が、すれて一遍にのしかかり、三重苦・四重苦とも言える苦しみ悲しみが町を覆い尽くし、目を疑いたくなるような故郷の悲惨な光景に誰もが喪失感や絶望感を感じざるを得ない、先の見えない状況を強いられることとなりました。

人的被害（数字は人数）

	直接死	関連死	死亡認定・行方不明	合計
久之浜・大久地区	四七	一〇	一二	六九
全市	二九三	一三〇	三七	四六〇

住家等被害（数字は棟数）

久之浜・大久地区罹災証明書発行数

全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	合計
九九三	三二〇	六一八	四九四	二、四二五

全市罹災証明書発行数

全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	合計
九九三	三二〇	四〇七六三	三二八九六	九八一二五

三月一一日　一四時四六分M九・〇震度六弱の大地震発生、久之浜、大久地区を含む市内全域で断水

一四時五〇分津波第一波一〇mの津波を観測

一五時三七分津波による福島第一原発の電源喪失

一五時四〇分津波第二波推定一〇・一m

第二波の直後、久之浜町北町付近から出火、折からの北風に煽られ、翌日の一六時四〇分まで一昼夜燃え七一戸が全焼、その間余震ならびに津波大小数知れず

一六時三六分福島第一原発一号機冷却機能喪失により三～一〇km圏内の屋内退去指示

三月一二日　一五時三六分福島第一原発一号機で水素爆発

一七時三九分福島第二原発から半径一〇km圏内退避指示

一八時二五分福島第一原発から半径二〇km圏内の退避指示
三月一三日　五時一〇分福島第一原発三号機冷却機能喪失
八時三〇分久之浜、大久地区全住民に対し自主避難勧告
同日午後住民避難終了
三月一四日　一一時福島第一原発三号機水素爆発
一三時二五分福島第一原発二号機冷却機能喪失
一九時四五分福島第一原発二号機の冷却水不足の為燃料棒が全露出
三月二〇日　一四時三〇分福島第一原発五号機冷温停止状態
一九時二七分六号機冷温停止状態、第二原発も同様全機冷温停止状態で現在に至る

五月以降当地区被災住宅の取り壊し開始
八月二三日～九月末、久之浜第一・第二小学校、久之浜中学校の除染作業完了
一〇月一一日、久一小、二小、中学校が開校
一一月二一日、ホールボディカウンターによる内部被ばくの検査開始（一八歳までの子供と妊婦の方が対象）
平成二五年一二月、当地区震災復興土地区画整理事業起工式より平成二九年度中工事完了予定との事である。
ちなみに平成二三年四月、久之浜地区の放射線量は、一・五〇～一・七〇マイクロシーベルト、今現在〇・〇八七～〇・〇五五マイクロシーベルトまで下がりましたが風が吹くと線量が高く成ります。
双葉郡八町村の現在の線量は北から
浪江町　〇・四二一マイクロシーベルト

双葉町　二・二四〇マイクロシーベルト
葛尾村　一・八八四マイクロシーベルト
大熊町　一・二六〇マイクロシーベルト
富岡町　〇・三九六マイクロシーベルト
川内村　〇・〇八二マイクロシーベルト
樽葉町　〇・〇八八マイクロシーベルト
広野町　〇・一一〇マイクロシーベルトです。

国道六号線が開除されましたが、帰還困難地域の富岡町・大熊町・双葉町・浪江町の区間一四キロは、オートバイ・自転車・歩行者の通行は認められず、途中停車も外に出ることもできません。また高速道路常磐自動車道はサービスエリア区間は、外に出ても大丈夫です。早く原発が終息することを祈ります。

2011年3月11日 15:33　久之浜町大久川から津波が堤防をこえて、車を押し流す

2011年3月11日 15:33　津波により車も家具も浮き、倉庫のシャッターに木材がぶつかり、かわら家が津波により浮きはじまり移動しはじめている所

2011年3月11日 15:38　大久川からの津波で町中、海水がいっぱいです。右上の1軒の家から火が出て、次日のPM3時すぎまで町の家70軒もの家が焼かれてしまった。津波は引き波がはじまった時です。

2011年3月11日 15:53　津波が引き、町中の様子が見えてきました。影磯橋(かげいそばし)の前方は津波の勢いで陥落してしまった。火の勢いは増していく。影磯橋の上には生活用品等が残っている。

2011年3月11日 15:56　第2波の後、久之浜の海の底が見えてました。テトラポット等、普段絶対に見ることのできない様子が見えた。約4分あまりでしたが、その後は2度と見ることはなかった。

2011年3月11日 17:14　津波は何度となく押しよせてます。前にあった家も流され、そのたびに様子が変わっていきます。妙教結社の入口の所まで津波が来ました。この後、ガレキの山が待っています。

2011年3月12日 6:55　次日、朝の町中の様子です。完全に2階部分の家の所が、半回転してます。津波の勢いが凄まじいかです。

2011年3月12日 11:41　久之浜の南町の様子です。バイパスの通りから撮りました。各家々のガレキの山で道がふさがれています。